

琵琶湖ハイキング報告

西日本支部 南部 満

西日本支部恒例行事のハイキング。今年は琵琶湖周辺の歴史とグルメを訪ねることをサブテーマとして12月5日に行いました。

当日は機械1期の森さんのテルテル坊主の^{てきめん}効果によって、12月とは思えない小春日和に恵まれ、奥様4名を含んだ19名が参加しました。



訪ねたのは滋賀県近江八幡市で、多くの近江商人を輩出した商都として知られています。

天下統一を成し遂げた織田信長が築城した安土町が隣町で、楽市として商業振興を図った歴史に裏付けられています。京都に近いこともあり、古戦場が多数あるのもこの地域の特徴です。古い街並みが保存されていて心安らぐ落ち着いた佇まいの街でした。



近江八幡駅に集合したのち、古い町並みを見学。

近江と言えば近江牛です。牛丼で舌鼓を打ち、ケーブルカーで琵琶湖を俯瞰できる八幡山頂へ。眼下には紅葉に染まった山々や織田信長が築城した安土山などを眺める事ができました。

八幡山は豊臣秀次（秀吉の姉の子）が造った山城で、天守閣や本丸、二の丸などを持つ要塞でした。秀次は近江八幡を発展させた名君でしたが、淀君に男子が誕生し、28歳の若さで自害させられたと言う歴史の悲話を伺いました。



近江八幡を発展させた人物としてヴォーリスを忘れることはできません。

英語教師として来日したヴォーリスは、教職を退任後、近江八幡を永住の地と決めて、建築家として数多くの建築物の設計を手掛けました。関西には大丸デパート心斎橋店が有名ですが、市内には意匠の凝った建物が多く残っています。直線的な建物が多い現代ですが、明治時代にこのようなデザイン性に優れた建物を後世に遺したのは素晴らしいと思います。建築が専門では無かったと聞いて驚きです。

メンソレータムの製造販売権をハイド氏から譲り受け、近江兄弟社を設立。得られた利益で学校・病院や社会福祉施設を開設しました。この国籍や主義主張を超えたヒューマニズムの実践は「日本人を超えた日本人」と称されています。この精神を顕彰するため、ハイド記念館がつくられ保存されています。



10月からのNHKの朝の連続ドラマ「あさが来た」のヒロインの「広岡浅子」の嫁入りシーンが近江八幡の運河で撮影されたとの事です。

ヴォーリスは広岡浅子の娘婿の妹で子爵令嬢の一柳満喜子と結婚し日本に帰化、一柳姓を名乗って生涯を近江八幡で過ごしました。当時の身分制度では華

族と一般市民、まして外国人と結婚する事は異例で、満喜子は実家から出て華族の身分を捨てて結婚に至ります。広岡浅子は二人の愛を理解して結婚を後押ししたそうです。



最後の見学はスイーツの「たねや」です。異彩を放つ「ラ コリーナ店」は同社の旗艦店。聞くとところによるとイタリア語で丘という意味との事。広大な駐車場は他府県ナンバーの車で埋め尽くされていました。普段なかなか接する事の少ない和菓子やはり「おもてなし」の心のこもった立派な日本文化です。



こうして、近江八幡のいろいろな事を識る事ができて大満足のハイキングは
夕刻無事解散。このあと有志による恒例の反省会。楽しい語らいに近江八幡の
夜はあっという間に更けていったのでありました。



何回も下見をしていただいた竹中さん。本当にありがとうございました。

次回は旨いものを楽しむ会です。お楽しみに。

以上